

Suica

● ICカードの名称

「スイスイ」行ける「IC」カードの意味。
Super Urban Intelligent CArdの略。

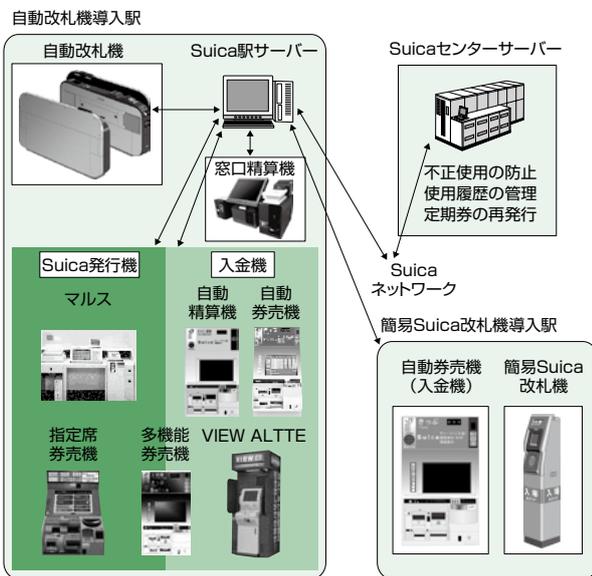
● コンセプト

サービスアップ	利便性の向上と新たなサービスの提供
システムチェンジ	駅でのキャッシュレス化、チケットレス化
コストダウン	可動部の減少等によるメンテナンス・インシヤルコストの削減
セキュリティアップ	偽造・変造カードの使用防止
ビジネスチャンス	Suicaの新たな可能性を追求し、新ビジネスを展開

● 特徴

改札時	バスケースに入れたまま、改札機に軽く触れるだけで通過可能です(タッチ&ゴー)
自動精算	定期区間外でも改札機にタッチするだけで自動精算が可能のため、きっぷの購入やのりこし精算が不要になります
繰り返し利用	入金(チャージ)機能と定期券のリライト(券面書替)機能で、1枚のカードを繰り返し利用できます
Suicaネットワーク	ICカードの情報をカードごとに管理することにより、利用履歴の管理・Suica定期券の紛失時の再発行等を行います
電子マネー	入金(チャージ)したお金がお店での買い物にもご利用いただけます

● Suica出改札システム取扱機器

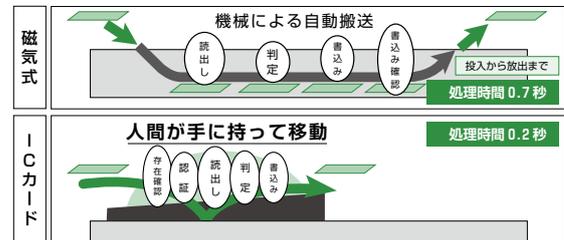


○ 自動精算

Suica 定期券の自動精算イメージ



○ 磁気式と IC カードの処理の違い



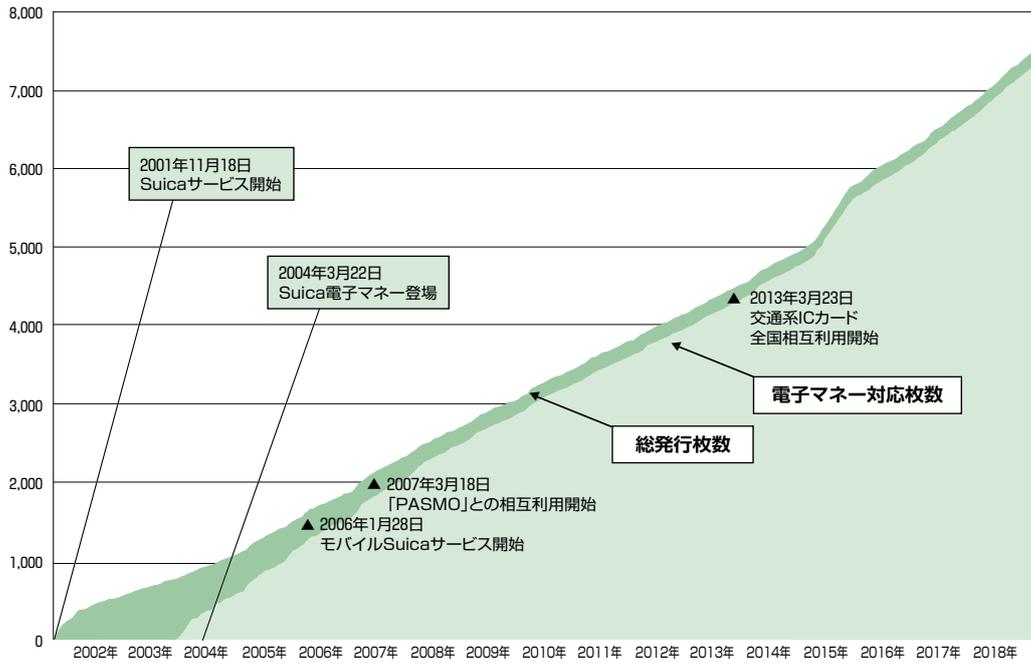
● Suicaのあゆみ

2001. 11. 18	首都圏エリアの424駅でのSuicaの本サービス開始
2002. 4. 21	東京モノレール(株)との相互利用開始
12. 1	東京臨海高速鉄道(りんかい線)との相互利用開始
2003. 7. 1	「ビュー・スイカ」カードサービス開始
10. 12	Suica定期券による新幹線利用サービス開始
10. 26	仙台エリアの66駅でのSuicaサービス開始
2004. 3. 22	Suica電子マネーサービス開始
8. 1	JR西日本「ICOCA」との相互利用開始
10. 16	「グリーン車Suicaシステム」導入
2006. 1. 21	新潟エリアの36駅でのSuicaサービス開始
1. 28	モバイルSuicaサービス開始
2007. 3. 18	「PASMO」との相互利用開始
6. 1	「Suicaポイント」サービス開始
2008. 3. 15	「モバイルSuica特急券」サービス開始
	首都圏・新潟エリアの31駅でのSuicaサービス開始
3. 18	JR西日本「ICOCA」との電子マネー相互利用開始
3. 29	「ICOCA」とJR東海「TOICA」との3者相互利用開始
	モバイルSuicaとEX-ICサービスの連携開始
2009. 3. 14	JR北海道「Kitaca」との相互利用開始
	首都圏・仙台エリアの112駅でのSuicaサービス開始
	新潟エリアの3駅でのSuica FREX定期券サービス開始
2009. 7. 27	Suicaインターネットサービス開始

2010. 3. 13	JR九州「SUGOCA」、西日本鉄道「nimoca」、福岡市交通局「はやかけん」との相互利用開始
	「ICOCA」「TOICA」との電子マネー3者相互利用開始
2011. 7. 23	スマートフォンでのモバイルSuicaサービス開始
2013. 3. 23	交通系ICカード全国相互利用サービス開始
	新潟交通「りゅうと」エリアでのSuicaサービス開始
2013. 6. 22	札幌市交通局等「SAPICA」エリアでのSuicaサービス開始
2014. 4. 1	首都圏・仙台・新潟エリアの33駅でのSuica一部サービス開始
	IC運賃の導入
2014. 10. 1	吾妻線の3駅でのSuica一部サービス開始
2015. 3. 14	気仙沼線BRT・大船渡線BRT「odeca」エリア、富士急行線でのSuicaサービス開始
2016. 3. 26	仙台エリアでの仙台市交通局等「icsca」との相互利用開始
	首都圏・仙台エリアの7駅でのSuica FREX定期券サービス開始
	陸羽東線の2駅でのSuicaサービス開始
2016. 10. 25	Apple PayでのSuicaサービス開始
2017. 4. 1	首都圏・仙台エリアの12駅でのSuicaサービス開始
	首都圏・新潟エリアの10駅でのSuicaサービス拡大
2018. 4. 1	「タッチでGo! 新幹線」サービス開始
2018. 5. 24	Google PayでのSuicaサービス開始
2018. 8. 1	「Mizuho Suica」の提供開始

● Suica発行枚数の推移

Suica 発行枚数 7,587 万枚 (2019年3月31日現在)

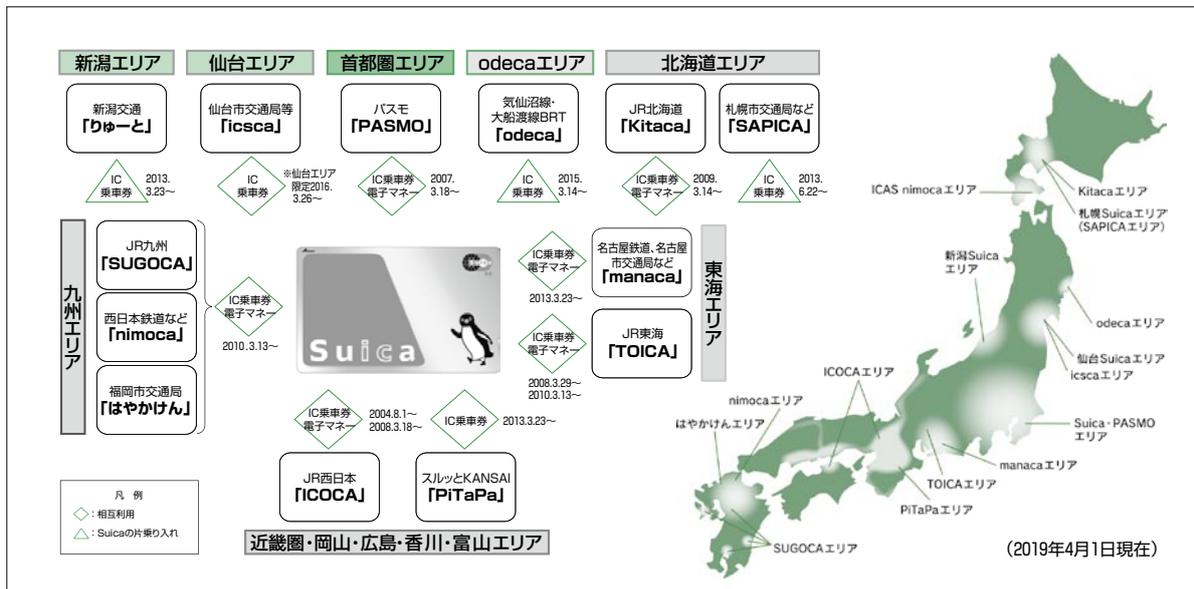


● 相互利用の推進

○ 当社利用可能駅

・首都圏エリア 637駅 ・仙台エリア 116駅 ・新潟エリア 65駅

○ Suica の相互利用イメージ



● グリーン車Suicaシステム

2004年10月のダイヤ改正にあわせて湘南新宿ライン・宇都宮線・高崎線において、普通列車グリーン車の営業運転を開始するとともに、Suicaを活用した「グリーン車Suicaシステム」を新たに導入し、車内改札を省略しました。さらに、2006年3月東海道線・横須賀線・総武(快速)線等に、2007年3月常磐線(中距離電車)に、2015年3月上野東京ラインにこのシステムを導入しました。

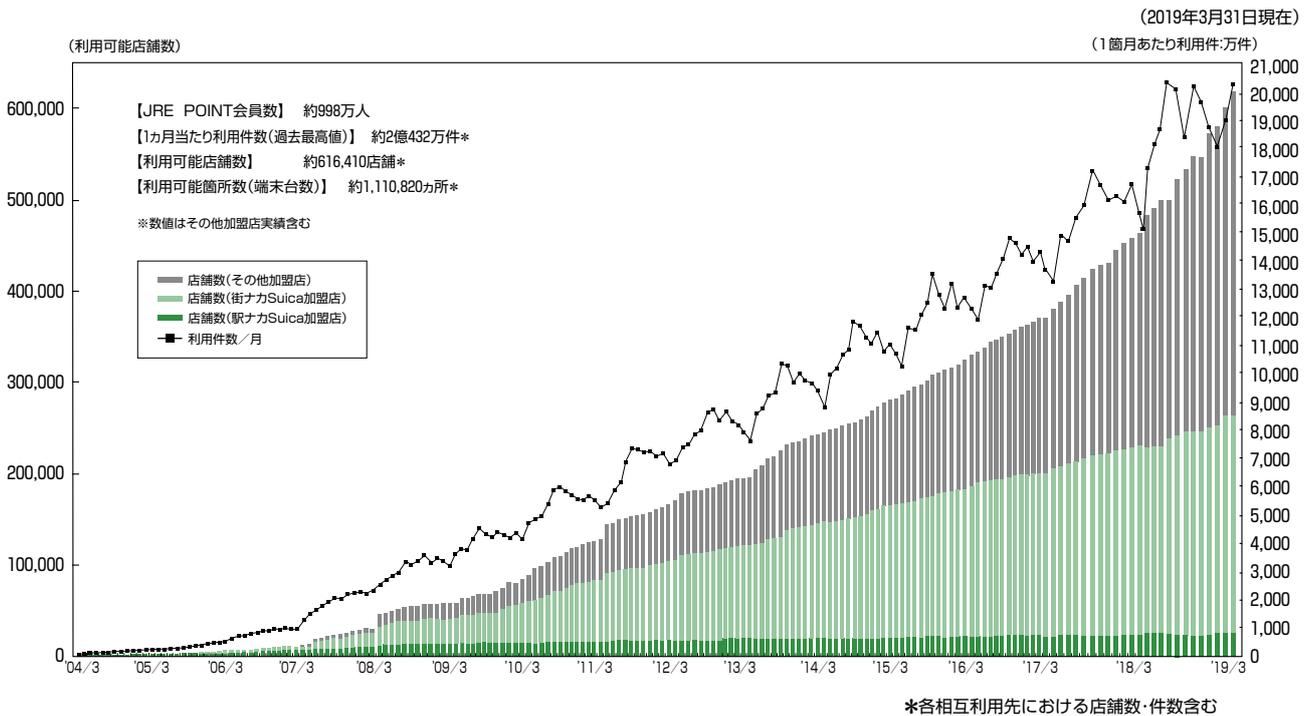


車内イメージ

● 地域連携ICカード

現在、Suicaと各地域の交通系ICカードを1枚にまとめた「地域連携ICカード」の開発を行っており、2021年春の提供開始を目指しています。これにより各地域の交通事業者はシステム開発や運営に関する費用を抑えつつサービスを提供できます。

● 交通系電子マネー利用件数および利用可能店舗数の推移



● JRE POINT

JRE POINTは、「貯まりやすく」「使いやすい」ポイントサービスの提供によりお客さまの満足度を高めることを目的として、2016年2月に開始したサービスです。

駅ビル等の「JRE POINTカードの提示でポイントが貯まるお店」や、エキナカ等の「登録したSuicaのご利用でポイントが貯まるお店」があり、様々なお店でポイントが貯まります。2018年6月にはビューカードのご利用で貯まるビューサンクスポイントもJRE POINTに共通化されました。貯まったポイントはJRE POINT加盟店の駅ビルで1ポイント=1円としてご利用いただけるほか、登録したSuicaへのチャージや、(JRE POINT用) Suicaグリーン券への交換ができます。



JRE POINT会員数 998万人	
JRE POINTカードの提示でポイントが貯まる加盟店 120施設 	登録したSuicaのご利用でポイントが貯まる加盟店 約50,000店舗 

(2019年3月末現在)

● Suicaを利用したビル入退館管理システム

普段お使いいただいているSuicaをビル入退館用カードとして利用できるもので、ビルの入退館チェックや、照明・空調・エレベーターなどの制御にも応用できます。



● 他の機能と一体化したSuica(多機能Suica)

Suica付学生証(社員証)については東急電鉄が展開するPASMO付学生証(社員証)と管理運用業務を統一し、ひとつの学校(企業)にSuica付学生証(社員証)とPASMO付学生証(社員証)を提供することで、学生(社員)がいずれかを選択できるようにしています。

名称	提携先	発行開始	備考
ゆうちょ ICキャッシュカードSuica	ゆうちょ銀行	2009.4	ゆうちょ銀行のICキャッシュカードとの一体化(定期券機能無し)
Suica付学生証 Suica付社員証	学校、企業等	2008.11	学生証・社員証との一体化(定期券機能有り)

●「モバイルSuica」サービス

携帯情報端末にSuica機能を搭載した「モバイルSuica」は、自動改札機などのSuicaマークのついた読み取り部にタッチするだけで利用でき、携帯情報端末の特徴(通信機能、表示機能)を活用して、「いつでもどこでも」チャージやSuica定期券、Suicaグリーン券の購入、ネットショッピングにおける決済、残額や利用履歴の表示が可能です。

また、「モバイルSuica」でJR東日本の新幹線(東北・山形・秋田・北海道・上越・北陸)をチケットレスで利用できる「モバイルSuica特急券」(「モバトク」・「スーパーモバトク」)は、チケット情報を携帯情報端末へダウンロードすれば、新幹線改札機をタッチ&ゴーで利用でき、新幹線の駅相互間は、紙のきっぷの自由席のお値段以下で普通車指定席にご乗車できます(2020年サービス終了予定)。

2011年7月23日より、(株)NTTドコモ、KDDI(株)、ソフトバンク(株)が展開するおサイフケータイ®対応Android™スマートフォンでも、「モバイルSuica」サービスを開始し、2015年12月14日よりMVNO端末でもご利用いただけるようになりました。会員数は2019年3月末時点で約715万人です。

● Apple PayやGoogle PayでのSuicaサービス

2016年10月よりApple PayでのSuicaサービスが開始となり、それまでモバイルSuicaに対応していたフィーチャーフォン、Androidスマートフォンに加え、iPhoneやApple WatchでもSuicaのサービスがご利用いただけるようになりました。ご利用にあたってはお手持ちのSuicaを取り込むか、App StoreからSuicaアプリケーションをダウンロードしてSuicaを新規発行していただけますが、Suicaアプリケーションに会員登録していただくとともにSuica定期券、Suicaグリーン券、モバイルSuica特急券をご利用できるようになります。

● Mizuho Suica

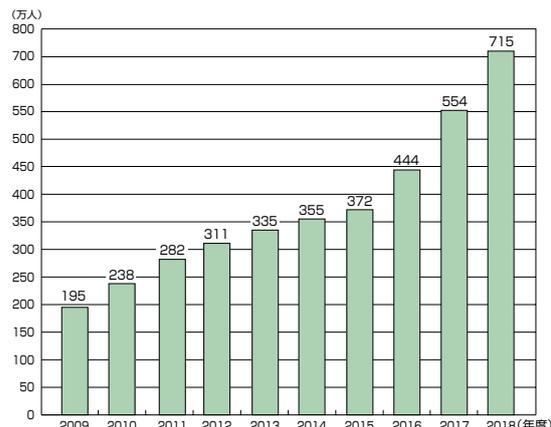
2018年8月より、みずほWalletアプリから「Mizuho Suica」が発行できるようになり、みずほ銀行の口座やApple Payからチャージが可能になりました。

■ビューカード

●ビューカードのあゆみ

1993年 2月 2日	ビューカード発行開始
1994年 4月 1日	ビュー・ジバンカード発行開始
1998年 4月 1日	ビュー法人カード発行開始
2000年 4月 1日	VISAとの提携開始
2000年 8月 1日	インターネットでビューカード申込受付開始
2001年 10月 1日	VIEW ALTTEの設置開始
2003年 3月 17日	ビューカード会員へのインターネットサービスVIEW's NET開始
2003年 7月 1日	「ビュー・スイカ」カードサービス開始
2003年 7月 1日	JCBとの提携開始
2003年 10月 1日	「ビュー・スイカ」カードの「サクスチャージ」サービス開始
2004年 3月 1日	MasterCardとの提携開始
2004年 4月 30日	ビュー・スイカVISAカードの国際化
2006年 1月 10日	定期券機能付「ビュー・スイカ」カード発行開始

○モバイル Suica 累計会員数の推移



利用イメージ

2018年5月よりGoogle PayでのSuicaサービスが開始となり、モバイルSuicaアプリケーションに加え、Google PayアプリケーションでもSuicaサービスがご利用いただけるようになりました。



※ Apple PayのSuica対応機種
(2019年3月末時点)

iPhone 7以降のiPhone
Apple Watch Series 2以降の
Apple Watch

●カードラインナップ

○「ビュー・スイカ」カード

ビューカードとSuicaが一体化したカードです。JCB・VISA・Mastercardの3つのブランドから選択できます。クレジット決済だけでなく、Suicaとしてご利用できるほか、定期券機能も搭載している多機能カードです。また、2015年4月からは家族カードを発行しています。



○ルミネカード

ルミネでのショッピングが5%割引になるほか、Suica定期券機能も搭載しています。



○グループ外企業との提携カード



●JALカードSuica・JALカードSuica CLUB-Aゴールドカード
クレジット利用でマイルがたまります。



●ビックカメラSuicaカード
ビックポイントカードとSuica付きビューカードが一体化。

○その他

鉄道系	「ビュー・スイカ」リポカード
生活サービス系	ジェクサービュー・スイカカード
提携他社の発行するビューカード	イオンSuicaカード スーパーICカードSuica「三菱UFJ-VISA」 みずほマイレージクラブカードセゾンSuica ANA VISA Suicaカード 横浜バンクカードSuica TOYOTA TS CUBIC VIEW CARD*

*TOYOTA TS CUBIC VIEW CARDはSuicaを搭載していません。
**以下のカードは更新等により順次JRE CARDに切り替わります。
(アトレビューSuicaカード、weビュー・スイカカード、エスパルカード、ペリエビューカード、フェザンカード)

○大人の休日倶楽部カード

「大人の休日倶楽部」会員専用のカードです。JR東日本線・JR北海道線のきっぷが何回でも割引になるほか、お得な会員限定きっぷなど、多くの特典で会員を集めています。年齢によりミドル用、ジパング用の2種類があります。

〈ミドル〉



〈ジパング〉



○JRE CARD

「JRE CARD優待店」でクレジット決済することでJRE POINTをお得に貯められるカードです。



○ビューゴールドプラスカード

充実のサービスが満載のゴールドカードです。入会、利用特典が通常の「ビュー・スイカ」カードよりも更に豊富で、毎日の鉄道利用やエキナカなどの様々なシーンでお得にご利用いただけます。



●ビューカード有効会員数・取扱高



● エキナカATM「VIEW ALTTE」(ビューアルッテ)によるサービス

名称	エキナカATM「VIEW ALTTE」(ビューアルッテ)	
設置台数	222駅などに385台 (2019年3月31日現在)	
サービス内容・機能	<ul style="list-style-type: none"> ・ご利用代金のお支払い ビューカード ・ビューカードによるSuicaへの入金(チャージ) ・オートチャージの設定・解除・条件変更 ・JRE POINTチャージ クレジットのご利用等でたまったJRE POINTを、Suica付きビューカードのSuica部分や、リンク設定されたSuica定期券、My Suica (記名式)に入金(チャージ)できます。 ・提携先ポイントのSuicaへの入金(チャージ) 「JALカードSuica」のご利用でたまったJMBマイルや「ビックカメラSuicaカード」のご利用でたまったビックポイント、その他の提携カードのポイントをSuica部分へ入金(チャージ)できます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・キャッシング ビューカード、提携カード ・銀行等キャッシュカードでの 預貯金引出、残高照会



● 外貨両替センター

駅構内での外貨両替のニーズへの対応として、外貨両替機及び外貨両替センターでの両替サービスを開始しました。2019年3月末現在、8駅8箇所でご利用いただけます。



● 海外発行カード専用

キャッシュディスプレイ

海外で発行された一部のカードについて、日本円の引き出し及び残高照会のサービスを行っており、2019年3月末現在で9駅11箇所を設置されています。



■ びゅう商品券

※ 2019年3月より機ビューカードが発行しています。

1995年4月に発売を開始した「びゅう商品券」はJR東日本の駅・びゅうプラザのほか、駅ビル、ホテル、KIOSKなどのグループ会社、加盟デパートや量販店等で利用できる便利な商品券です。

(500円、1,000円券の2種類を発売しています)

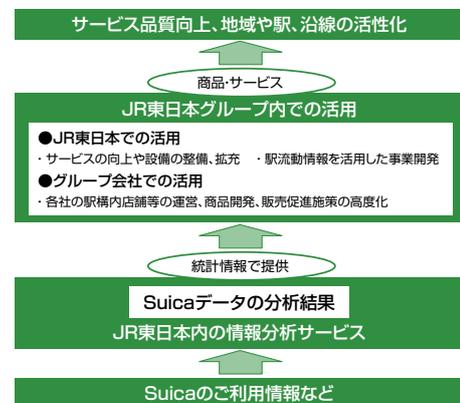


■ 情報ビジネスの取組み

2013年度に情報ビジネスセンターを立ち上げ、Suicaやビューカードに関する統計情報を活用する取組みを、JR東日本グループ内で進めています。

● 統計情報提供事業

統計情報の分析結果をサービスや設備の整備、事業開発などに活用することで、サービス品質の向上、地域や駅、沿線の活性化の実現を目指しています。



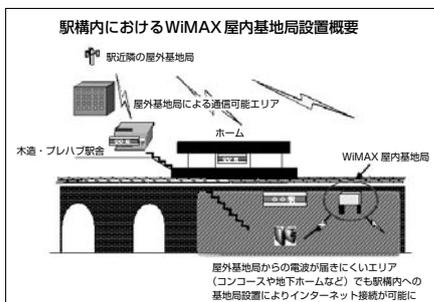
■ WiMAX

※ WiMAX: UQコミュニケーションズ㈱等が提供する高速無線通信サービス

● 駅構内へのWiMAX基地局設置

首都圏を中心とした138駅にWiMAX屋内基地局を設置し、屋外からの電波が届きにくい改札内のコンコースや地下ホームなどでも、WiMAXによるインターネット接続をご利用可能としています。

また、より高速な通信を可能とするために、現在、WiMAX2+屋内基地局設置を進めています (2019年3月末現在171駅)。



● 特急列車でのサービス提供

成田エクスプレス (E259系) やひたち・ときわ (E657系) では、車内に設置した無線LANのアクセスポイントから、屋根上のアンテナを通してWiMAX網に接続することで、車内でのインターネット接続を可能としています。

● 旅費精算事業

企業の従業員が業務移動で利用したSuicaの利用履歴データを、当該企業に提供する法人向けサービスを開始しました。企業内での経費精算システムに連携し、経費精算事務作業を効率化するなど、社会の働き方改革に貢献しています。

■ JR東日本アプリを活用したビジネス展開

2014年3月にサービスを開始したJR東日本アプリは、2019年3月末時点で400万ダウンロードを突破。同年4月には大幅にリニューアルし、より移動にフォーカスを当てたアプリとなりました。JR東日本グループが提供するさまざまなイベントや商品のおすすめ情報やクーポン等を配信し、グループ全体の価値、収益力向上への貢献を目指します。

